

令和3年度 青少年ボランティア・市民活動体験事業要項

1 目的

青少年が、市内の福祉施設、団体ボランティア、NPO団体でボランティア活動体験をすることにより、社会には、様々な人々がいることやいろいろな価値観があることに気づき、人への思いやりの大切さを実感し、ボランティアの根底にある「お互い様の精神」を学ぶことを目的に開催する。

2 主催

社会福祉法人知多市社会福祉協議会 知多市総合ボランティアセンター

3 実施時期

8月2日（月）～31日（火）（緊急時対応の為、祝日、日曜日は除く）

4 対象

市内在住、在勤または在学（中学生以上）でボランティア活動に関心のある方

5 体験先

市内の福祉施設、団体ボランティア、NPO団体、サロン

6 参加人数

130名（予定）

7 募集方法

- (1) 7月1日発行の「ちたのふくし」に募集記事を掲載
- (2) ちらしを関係機関に配布
- (3) ボランティアセンターホームページに掲載
- (4) 報道機関へ掲載を依頼

8 申込み

7月1日（木）から7月10日（土）の9日間（日曜日を除く）、知多市社会福祉協議会知多市総合ボランティアセンターへ申込み

9 事前研修

各施設・団体での体験学習に必要な基礎的知識の事前研修を受けてから、ボランティア体験を行う。なお、事前研修会等に参加しない者については、当事業への参加資格がないものとする。なお、知多翔洋高校生徒については事前研修を知多翔洋高校にて行う。

| 日程 | 場所 |
|-------------------------|--------------|
| 7月13日（火）午後4時～ | 愛知県立知多翔洋高等学校 |
| 7月27日（火）午前10時～、午後1時30分～ | 市民活動センター |
| 7月28日（水）午前10時～、午後1時30分～ | |

10 その他

- (1) 体験学習実施場所までの交通費・昼食代等諸費用は参加者負担とする。
- (2) 参加者の活動中の事故を考慮し、ボランティア活動保険に加入する。加入料は、主催者側が負担する。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策

この体験事業における新型コロナウイルス感染症予防対策は、マスクの着用や手指消毒、体温測定などの対策を取り、受入れ施設は「感染症予防対策チェックリスト」を提出する。体験者は「ボランティア活動をするにあたってのお願い」をよく読み、当日の体温を記入し、体験団体に提出する。